

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2024年 1月 25日

事業所名:放課後等デイサービス めぐみ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	指導訓練室2室の他、静養室、多目的室、相談室を有し、十分なスペースを確保しています。 障害特性や活動内容に合わせ、配置等を工夫しています。また親子で参加できる行事を企画しています。	はい:21 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:3 ・子供達が活動している状況を見たことがない為わからない。	今後も、個々の子どもの様態に応じ、配置等を工夫しながら、十分な活動スペースの確保に努めます。またご希望により、サービス提供時の様子を見て頂く機会を設けます。めぐみだよりの中で、室内の様子や活動の様子等についてご紹介し、引き続き親子で参加できる行事を企画していきます。
	2 職員の適切な配置	常時見守りが必要な子どもへの支援等を行うため、指定された人員配置基準を上回る職員配置を行っています。 夏期や冬季の長期休暇には見守り体制を強化するため、恵生園より職員を派遣しました。 スタッフの入れ替わりがあった際には、めぐみだよりの中で、ご紹介をさせていただいています。	はい:15 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:10 ・専門毎の役割分担が分かりにくい。 ・子供を職員何人でみているか分からない。	保育士、児童指導員、社会福祉士、作業療法士(業務)など、児童分野での経験と専門性を備えた職員を基準人員2名以上配置しています。今後も適切な職員配置に努め、より良いサービスの提供を心掛けます。また引き続きめぐみだよりの中で、スタッフのご紹介をさせていただきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	子どもがわかりやすい遊具等の配置を工夫しています。障害特性及び発達状況に応じた支援ツールを備え、安心安全に活動できるよう環境設定を行っています。随時、見学の希望があれば受け付けさせていただいています。	はい:23 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:3 ・利用前の見学をただで、実際のような活動をしているかわからない。	今後も、わかりやすい構造、発達状況に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備に努めると共に、安心安全に活動していただけるよう職員研修を重ねます。また、引き続き見学の希望があれば受け付けさせていただきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃、消毒を行うと共に、室内の換気や空気清浄機の常時稼働等、清潔で衛生的な環境を維持するよう努めています。 日々手洗い、手指消毒を徹底し、子ども達にもその重要性を伝えています。めぐみだよりの中で感染症についてのお知らせをしています。 マットや畳を敷いたり、活動に合わせて安全に過ごしてもらえよう努めています。	はい:20 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:4 ・床が硬かったと思いますが、活動内容でどうされているのか。 ・わからない。	今後も、清潔で心地よく過ごせるよう、清掃の徹底及び感染対策を継続してまいります。また、引き続き感染症についてのお知らせを作成し、ご案内致します。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々の事前、事後ミーティングの他に職員会議や個別支援会議を行い、PDCAサイクルに従って、問題点の共有や解決までのプロセスを話し合っています。		今後も、日々の事前、事後ミーティングの他に職員会議や個別支援会議を行い、PDCAサイクルに従って、問題点の共有や解決までのプロセスを話し合っています。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	定期的に第三者評価機関による外部評価を実施し、評価結果を業務改善につなげています。		今後も定期的の実施するよう計画致します。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	スーパーバイザーによるフィードバック会議にて個別カンファレンスを実施しています。また外部研修に参加し、職員の資質の向上に努めています。		今後もスーパーバイザーによるフィードバック会議にて個別カンファレンスを実施します。また各種研修に積極的な参加を促し、職員全員のスキルアップに努めていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	モニタリングや電話連絡などでご家庭との情報共有を行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、支援会議で検討し、計画書を作成しています。		今後も、利用時の細やかな観察や丁寧なモニタリング等を心掛け、適切な計画を作成します。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況を踏まえて、必要な活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しています。	はい:24 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:0 ・まずは慣れることのみで、手さぐりからのスタートで取り組んでもらっている。	今後も継続して、一人ひとりの状況や課題に応じた計画を作成します。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもの発達段階や状況に応じて目標を設定し、家庭相談や学校への訪問等、必要に応じた具体的な支援内容を記載しています。		今後も継続して、一人ひとりの計画に沿った具体的な支援内容を記載します。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員全員で放課後等デイサービス計画を確認し、計画に沿った支援を実施するよう努めています。 定期的にモニタリングを行い、日々の支援内容についてお伝えしています。	はい:23 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:2 ・よく頂いていると思いますが、こちらに伝わりにくい。	今後も、放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施に努めます。また活動の様子について、連絡帳等で定期的にお伝えするよう、継続致します。その際には保護者の方に安心していただけるようお伝えさせていただきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	障害特性、発達段階、生活状況や課題についてチーム全体で検討し、活動プログラムを作成しています。		今後も、チーム全体で意見を出し合い、子どもの状況に応じた活動プログラムを作成します。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	授業終了後、代休日、長期休暇などに応じてチーム全体で検討し、活動プログラムを組み立てています。	はい:14 どちらともいえない:4 いいえ:0 わからない:8	今後も、チーム全体で意見を出し合い、子ども達の様子に応じたプログラムを作成するよう努めます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節の行事を取り入れたプログラムや外出支援、他施設との交流等、一人ひとりの課題や状況に沿ったプログラムを実施しています。また書籍・研修等で情報収集を行い、職員間でアイデアを出し合う等、活動が固定化しないよう工夫しています。		今後も一人ひとりの課題や状況に応じたプログラムを実施します。プログラム実施後はフィードバック会議を行い、改善点や反省点等を次のプログラムの立案へ繋げます。また、引き続き機関紙等で活動の予定や様子をお知らせします。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日事前ミーティングを行い、その日の活動内容の流れや役割分担、子どもの様子について確認と共有を行っています。		今後も、事前ミーティングに於いて、活動内容の確認や情報の共有を図り、チーム全体で細やかな支援を行えるよう努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化		今後も、支援終了後のフィードバック会議に於いて、職員間での情報の共有や業務の確認を丁寧に行い、一貫した支援を提供できるように努めます。	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施		今後も、支援の都度、業務日誌、サービス提供記録、支援記録を適切に記載し、職員間で情報や課題の共有を図ると共に、支援の検証・改善に繋げていきます。	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し		概ね6か月毎にモニタリングを実施していますが、子どもの状態や家庭状況等に变化があった場合等、必要に応じて見直しを行います。	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画		今後も継続し、相談支援事業所との連携を図ります。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		今後も必要に応じて、関係機関との連携体制を図ります。	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		今後も必要に応じて、子どもの主治医や協力医療機関等との連携体制を整備していきます。	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で支援内容等の十分な情報共有		今後も必要に応じて、就学前に利用していた保育所、幼稚園、児童発達支援事業所等と支援内容等の情報共有を行っています。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供		必要に応じて、障害福祉サービス事業所等に支援内容の十分な情報提供を行います。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進		今後も同法人の児童発達支援センターや発達障害者支援センターと連携しています。発達障害者支援センター、エスポワールこじか等の専門機関での研修や強度行動障害研修を受講しました。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	感染症の影響もあり、放課後児童クラブや児童館との交流の機会は持っていません。スタッフ間では放課後学童クラブとの情報共有を行っています。	はい:4 どちらともいえない:4 いいえ:1 わからない:17	感染症の影響で他事業との交流困難な状況が続いていますが、地域の行事に参加する等、地域の子どもと活動する機会を検討したいと思っています。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	法人内の行事に参加し、地域の方々との交流の機会を持ちました。	はい:4 どちらともいえない:4 いいえ:1 わからない:17	今後も感染症の状況に注意しながら、地域住民が参加できる行事等の企画や参加を検討したいと思っています。またボランティアの受け入れ等も検討していきます。
保護者への説明・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用体験や利用契約時に、支援の内容、利用者負担等重要事項について、文書化の上、対面で丁寧に説明を行なっています。	はい:22 どちらともいえない:3 いいえ:1 わからない:0	今後も継続して、丁寧にわかりやすく説明を行ってまいります。ご不明な点等がありましたら忌憚なくお知らせ下さい。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	作成時・変更時に、支援内容について丁寧に説明を行うよう努めています。	はい:23 どちらともいえない:3 いいえ:0 わからない:0	今後も継続して、丁寧にわかりやすく説明を行ってまいります。ご不明な点等がありましたら忌憚なくお知らせ下さい。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施	保護者との定期的な面談や電話連絡を通じて、子育ての悩み等に対する相談を行うようにしています。	はい:13 どちらともいえない:4 いいえ:3 わからない:6	保護者会や定期的な相談日を設けるよう検討していきたいと思っています。子育てについてお悩みごとやお困りごとがありましたら随時ご相談下さい。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や送迎時、電話連絡等で、ご利用時の様子や課題についてお伝えしています。また必要に応じて個別に相談の時間を設けています。	はい:21 どちらともいえない:4 いいえ:0 わからない:1	今後も、ご家庭との連携を大切に、子どもの状況や課題について、共通理解を深めたいと思っています。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	希望に応じて相談を受け付けています。また定期的なモニタリング時に相談の時間を設けています。	はい:22 どちらともいえない:4 いいえ:0 わからない:0	今後も、希望に応じて随時相談を受け付けています。子育てについてお悩みごとやお困りごとがありましたら随時ご相談下さい。また、定期的な相談日を設ける等相談しやすい体制を検討してまいります。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会(茶話会)の場を提供しています。	はい:18 どちらともいえない:4 いいえ:2 わからない:2 ・参加したことがない。	今後、保護者会や保護者向け勉強会等を検討していきたいと思っています。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	子どもや保護者からの苦情について迅速かつ適切に対応できるよう、苦情受付窓口を設置しています。また苦情受付箱を設置しています。	はい:15 どちらともいえない:3 いいえ:0 わからない:8 ・特に苦情等もなく、対応についてはわかりません。	苦情解決対応体制に沿って迅速に対応しています。また苦情解決対応体制については、ホームページでご案内できるよう検討してまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	ラインの活用や送迎時、連絡帳などで情報伝達が円滑にできるよう努めています。子ども一人ひとりの課題や状況に合わせた伝達方法でコミュニケーションを図っています。また、気になる事がある保護者の方には、来所いただき随時相談に応じています。丁寧な支援を実施したい為、記録については支援終了後になってしまいます。連絡帳作成については、活動時の写真の選択やスタッフ一人ひとりと関わりの記録している為、どうしても記録作成に時間を要しています。	はい:21 どちらともいえない:3 いいえ:0 わからない:2 ・利用の様子が一週間遅れで知ることについて改善してほしい。 ・送迎時の立話では十分なやりとりが出来ていないように感じる。	今後も継続して取り組んでまいります。ご意見等がありましたら、電話やライン等で忌憚なく申し出ください。
	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	「めぐみだより」を作成し、その中でお知らせしています。	はい:25 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:1	活動概要や行事予定等を定期的にお知らせできるよう、今後も継続して機関紙の発行を行ないます。
	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。ご利用者様の個人情報につき、紛失・破棄・改ざん・漏洩が生じないようにセキュリティ対策を講じて適正に管理しています。	はい:23 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:3	今後も、当法人の個人情報保護規定に則り、安全適切に個人情報を管理するよう徹底します。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定は行っていますが、周知が不十分でした。	はい:20 どちらともいえない:2 いいえ:1 わからない:3	ホームページに掲載する等、各マニュアルの周知方法について改善に努めてまいります。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的避難、救出その他必要な訓練の実施	非常災害に備え、子どもを含めた避難訓練を実施し、連絡帳にてお知らせしています。	はい:18 どちらともいえない:2 いいえ:1 わからない:5	今後も定期的に避難、救出、引き渡し訓練を計画し、実施してまいります。その際には、保護者の方にご協力をお願いいたします。めぐみだよりや連絡帳にて支援内容をお知らせいたします。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	「障害者福祉施設・事業所における障害者虐待防止と対応の手引き」に基づき、職員全体で虐待防止研修を行いました。また定期的に虐待防止チェックリストを実施しています。		今後も毎年、虐待防止研修を行うと共に、虐待防止チェックリストを継続して行います。また虐待通報制度等について職員間で徹底を行います。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを職員の共通認識とし、行った場合は記録に残すこととしています。対象児童がいる場合は身体拘束適正化委員会を検討し、対応を実施する体制を整備しています。		今後も身体拘束の検討が必要なケースについては、代替性がないか慎重に検討した上で、それでもなお、身体拘束を行わざるを得ない事態が想定される場合には、いついかなる場合にどのような形で身体的拘束を行うかについて、組織的に決定を行うこととします。身体拘束委員会を定期的に開催し、支援の内容について振り返りを行ってまいります。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーの有無について十分確認を行ない、支援しています。		今後も継続して、アレルギーの有無について確認の上、支援を行ないます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事後ミーティングの中でヒヤリハットや事故について振り返り、ヒヤリハット報告書に記入を行い、職員間で共有を図ると共に、事例集として綴っています。また月次会議でヒヤリハット・安全管理の再確認を行っています。		今後も、危険な事例があった場合、事後ミーティングを通じて日々職員間で共有していきます。ヒヤリハット報告書が提出しやすいよう書式の改善を図ります。安心してご利用いただけるよう引き続き十分配慮して参ります。